

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年2月23日 (金)
 NO. 836号 本号4頁

「安倍9条改憲を止めよう」と国会前に1800人 -2月の19日行動-

定例の19日行動が全国各地で、今月も開催されました。国会議員会館前では、安倍9条改憲の阻止、森友・加計学園問題など政治の私物化の徹底追及を掲げて「19日行動」が行われ、1800人が参加しました。参加者は寒い中、「安倍9条改憲をみんなで止めよう」とコールしました。主催は、「総がかり行動実行委員会」と「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」です。

主催者あいさつした「総がかり行動実行委員会」共同代表の高田健さんは、安倍政権は年内にも改憲を狙っているが、国民は望んでいないと指摘し、「3000万人署名などで世論を盛り上げ、必ず阻止しましょう」と呼びかけました。



各野党の国会議員も参加。日本共産党の穀田恵二衆院議員、立憲民主党の佐々木隆博衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員が挨拶しました。各氏は安倍9条改憲阻止に向けた決意とともに、安倍首相「働き方改革」関連法で裁量労働制をめぐる国会答弁を撤回した問題を取り上げ、「働き方改革関連法提出の前提が崩れたことになる。法案の提出は断念すべきだ」と訴えました。日本共産党の穀田氏は、改憲や「働く方改革」法案に反対する共同が広がっていると述べ、「安倍政権の打倒につなげよう」と呼びかけました。

埼玉から参加した男性(64歳)は、「自民党は3月25日の党大会まで改憲案をまとめると言われており、3~4月のたたかいが重要。仲間と3000万人署名集めたい」と語りました。

参院憲法審査会 合区解消の条文案に与野党反対! 自民党「孤立状態」に

参院憲法審査会は21日、今国会初の討議を行いました。自民党は、隣接する参院選挙区を統合する合区を解消する条文案を説明。これに対して野党から反対意見が続出し、賛同する政党はありませんでした。自民党は「孤立状態」(朝日新聞)に陥りました。自民党は年内の改憲発議を視野に入れていますが、読売新聞は「合区解消では与野党の合意形成を図るのは困難な状況」と報道しています。

自民党の岡田直樹氏は、「投票価値の平等は大切な価値観だ」と、参院選挙区の「1票の格差」是正の必要性を認めつつも、「人口比例を唯一の尺度とすると、地域間格差などにつながる恐れがある」と表明。党憲法改正推進本部がまとめた条文案を説明し、各都道府県から参院議員を最低1人は選出できるようにする改憲を主張しました。

これに対して、公明党の西田実仁氏は、国会議員は全国民を代表すると定めた憲法43条との矛盾を念頭に、「参院が全国民の代表であることに疑念を持たれば、衆院との関係で大幅な権限見直しを迫られる」との懸念を示し、「参院の影響力を弱める改革には賛同しがたい」と表明しました。

また、**民進党**の石橋通宏氏は「憲法改正ではなく、選挙制度改革で結論を得るべきだというのは、自民党以外の全ての党が一致した見解。全党で議論すべきだ」と指摘しました。

日本維新の会の東徹氏は「いきなり憲法改正でやるのはいかなるものか」と語り、**社民党**の福島瑞穂氏は「参院の地位を下げる」と反対しました。

安倍首相の9条に自衛隊を明記する案にも野党は批判！

また、安倍首相が唱える9条に自衛隊を明記する案についても野党は批判を強めました。**民進党**の白真勲氏は「改憲より日米地位協定の改定などの方がよほど国民の期待が大きい」と主張しました。また、同党の伊藤孝恵氏は、9条に自衛隊を書きこんでも権限は変わらないとする首相の説明に触れ、「国民投票をやる説得力に欠ける」と述べました。さらに、同党の宮沢由佳氏は「あまりにもご都合主義。自衛隊合憲の立場は国民投票の結果に影響されないというのは、国民投票の結果を無視するということだ」と批判しました。



立憲民主党の風間直樹氏は、「9条1項2項が空文化し、自衛隊の権限が法律に委ねられることでフルスペックの集団的自衛権が可能となりかねない」と、首相案に反対する党の見解を表明しました。

日本共産党の二比聡平氏は、「安倍政権のもとで大きく変貌する自衛隊を書きこむなら、際限のない海外における武力行使に道を開くことになる」と批判しました。

社民党の福島瑞穂氏も、「集団的自衛権を行使する自衛隊を明記することは戦争改憲」と9条改憲に反対しました。

自民党憲法改正推進本部 教育充実、条文案を大筋了承 あんなに公言していた「無償」は盛り込まれず！

自民党憲法改正推進本部は21日午前、党本部で全体会合を開催しました。執行部は「教育の無償化・充実強化」に関し、教育の機会均等を定めた26条に3項を追加し、教育環境の整備に努めるとする国の努力義務を規定した条文案を提示し、大筋で了承を得ました。

素案では、教育を受ける権利を定める第26条1項に「経済的理由によって教育上差別されない」との文言を加えています。

そして、3項を新設し、教育の意義を明記。その上で、「国は教育環境の整備に努めなければならない」としています。公言していた「教育の無償」は盛り込まれていません。

- | | |
|-------|---|
| 26条1項 | すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有し、 <u>経済的理由によって教育上差別されない。</u> |
| 2項 | 義務教育の無償などを謳う2項は維持。 |
| 3項 | 国は、 <u>教育が国民一人一人の人格の完成を目指し、その幸福の追求に欠くことのできないものであり、かつ、国の未来を切り拓く上で極めて重要な役割を担うものであることに鑑み、教育環境の整備に努めなければならない。</u> |

教育無償化には日本維新の会が積極的で、自民党も昨年秋の衆院選公約に掲げました。推進本部の議論では反対意見が相次ぎ、「無償化」は見送ったものの、20日の執行役員会で維新案の「経済的理由によって教育を受ける機会を奪われない」との趣旨を取り込むべきだとの意見が出たため、1項にこうした文言を明記するとしています。露骨な維新の会を巻き込むための対応策です。

全体会合で素案は大筋で了承されました。改憲4項目のうち二つがほぼ固まったことを受け、推進本部の根本匠事務総長は21日、安倍首相に報告。安倍首相は「よくやってくれた」と応じたとか。そして、9条改正など残る2項目について「よく議論してほしい」と述べたとか。

でも、あんなに大きく公言していた「教育の無償化」はあっさり断念し、国が当然やるべき「教育環境の整備に努める」をわざわざ憲法に明記する必要はありません。こんな改憲は必要ありません。

各地のたたかい

大阪 大阪府内各地で安倍 9 条改憲 NO ! の声響く！

大阪総がかり行動実行委員会は、なんば高島屋駅前で 19 日宣伝署名行動を行い、130 人が参加し、94 人分の署名を集めました。さっと自分から寄ってきて署名していく若い男女もいましたが、「憲法で自衛隊の存在は認めるべき」という中年の女性など、憲法に書き込まれるのは「集団的行使が可能な自衛隊」という認識がまだまだ浸透していないことも実感。

安倍改憲の狙いをもっともっと府民に訴え、3000 万署名を広げにひろげて行きましょう。

○西淀川 「戦争あかん！ ドラムデモ」を実施

2015 年から毎月 19 日を基本に今回で 31 回目。インターネットでデモのことで知り、参加した青年など 80 名が参加。集会では「現在開催中の平昌オリンピックで、南北統一旗など民族や国を超えた連帯でわれわれを励ましている」等と、実行委員長があいさつ。北山良三共産党前市議員が「自民党の中でも安倍 9 条改憲に異論が出ている。3000 万人署名で西淀川の 4 万 5 千人をやりきり改憲をストップしよう」と力強く訴えました。ドラムデモは姫之里公園からスタートし、「戦争あかん！」「戦争法は廃止」「憲法改悪絶対反対」などドラムに合わせてコールし、店先から多くの人々が声援してくれました。

○旭区 高校門前で宣伝行動

14 日 16 時過ぎから朝日高校前宣伝。一番最初に門前に現れた女子高校生 2 人は「戦争させないために憲法 9 条はそのままがいい」と署名を訴えると即 OK。説明を聞いて「やります」と応じる男子生徒もいましたが、中には「戦争は嫌だが 9 条を守ることと戦争をさせないことが自分では結びつかない」と躊躇する人も。「しっかり考え、自分の意思で署名してください」と対話。40 分で 27 人分が集まりました。

沖縄 沖縄の仲間とともにたたかおう！

オール沖縄会議あらためてゲート前の座り込みへの結集を呼びかける！

オール沖縄会議は 19 日に現地闘争部会を開き、キャンプ・シュワブ前での座り込みのあり方をはじめ、当面のとりくみについて協議しました。

このところ座り込みの参加者が減り、それに連動するかのようになり、工事関係車両の侵入も急増しています。名護市長選挙の敗北によりさらに士気への影響が懸念され、このままでは安倍自公政権の思う壺となってしまいます。そこで、あらためて座り込みの立て直しを急ぎ、ゲート前の結集を呼びかけることになりました。また、議論の中では労働組合の構成員の結集が弱いとの指摘がありました。かつては大衆運動の中心であっただけに、オール沖縄会議は労働組合の決起を期待しています。

以下、当面の行動として確認したのですが、特に毎週水・木曜日の「集中行動日」の強化（立て直し）を直近の課題として位置付けています。

1. 毎週水・木曜日の集中行動

毎週水・木曜日、朝 8 時 30 分から 16 時頃までの座り込みです。かつては最大時 300 人以上となり、そんな日は機動隊も手を出せない状態でしたが、最近は 100 人にも満たない状態が続き、工事車両の侵入を許してしまっています。各組織は機関会議できちんと位置づけて、結集してください。

2. 第一土曜日行動

毎月最大の座り込み行動として、昨年 11 月から始まりました。毎週土曜日は、議員行動として位置づけられていますが、第一土曜日については毎月最大規模の結集で作業を断念させようとするべく、前回より位置づけられています。今回は 3 月 3 日（土）8 時 30 分からです。12 時ころから 1 時間にわたりミニ集会が開かれる予定です。

3. 「サンシンの日」行動 毎年 3 月 4 日の「三線（サンシン）の日」は県内で三線にちなんだ様々な行事がおこなわれています。辺野古の座り込みでも、ゲート前で三線を奏でるとりくみが続けられています。今年の 3 月 4 日は日曜日ですが、暦どおりにおこなう予定です。

沖縄県統一連ニュース 17-73 より

春の憲法講座の申し込み、お早めに！

「春の憲法講座」の申し込みが100名に達しました。今日の安倍9条改憲の動きが強まる下で、ともに学んでたたかう力・エネルギーを蓄えたいとの思いでしょうか、連日、申し込みが届いています。

まだ、申し込んでいない方、早めにお申し込みください。

憲法会議

春の憲法講座

—9条改憲ストップ、生かそう憲法 くらしに政治に！—

安倍政権は通常国会での改憲発議をめざし、予算成立後に憲法審査会に憲法改正案を提出する方針で、党内での意見の取りまとめをすすめています。日本国憲法が最大の危機を迎えようとしています。

一方で、国民の改憲阻止に向けたたたかいも燎原の火のように全国に広がっています。戦争法・共謀罪法反対、衆院選をたたかった市民の共同、市民と野党の共闘が発展し、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）に取り組んでいます。共同と連帯をさらにひろげ、その力で安倍9条改憲許さず、憲法が生きる憲法どおりの日本の社会と政治を実現しようではありませんか。

今年の「春の憲法講座」です。学びあい、知恵と力を3000万人署名に！

*講座・講演 愛敬浩二 名古屋大学大学院法学研究科教授
「安倍9条改憲でどう変わるか」



*国会報告 穀田憲二 日本共産党国会対策委員長・衆院議員
「安倍暴走政治を許さない—国政を語る」



と き 2018年3月4日(日)
午前10時00分～12時30分(9時30分開場)

と ころ 全国教育文化会館 7F
千代田区二番町12-1 TEL 03-5210-3511

資 料 代 1000円(学生500円)
当日会場にていただきます。

主 催 憲法会議(憲法改憲阻止各界連絡会議)

協 賛 神奈川憲法会議/埼玉憲法会議/
千葉県憲法会議/東京憲法会議



*事前お申し込みをお願いします。下記へご連絡ください。
(定員まで受け付けます。締切りはホームページでお知らせします。)

◆申し込み・連絡先◆

憲法会議
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
神保町マンション202
TEL03-3261-9007 FAX03-3261-5453
Eメール: mail@kenpoukaisai.jp

● 憲法講座受講申し込み書 ●

氏名	住所	電話	ファックス	メールアドレス